

令和7年度 静岡県立大学短期大学部

学校推薦型選抜・社会人特別選抜 試験問題

下の文章を読み、次の問に答えなさい。

問1 次の記号(A～D)のうち、文中の空欄①、②、③、④に入る語句の組み合わせとして適切なものを1つ選びなさい。

- A. ①少なく ②多い ③可能 ④ほとんどない
- B. ①少なく ②多い ③不可能 ④きわめて多い
- C. ①多く ②少ない ③可能 ④きわめて多い
- D. ①多く ②少ない ③不可能 ④ほとんどない

問2 本文の内容をふまえ、「ボランティアは自己満足ではないか」という問いに対する、あなたの考えを600字以上750字以内で述べなさい。

<記述上の留意点>

- ① 解答は横書きとすること。
- ② 句読点および改行による空白も文字数に含めること。
- ③ 問1の解答は1行目に、問2の解答は3行目から記述すること。

ボランティアをしている学生たちと話をしていると、自分たちのやっていることは本当に役に立っているのかとか、自己満足ではないかという言葉をよく耳にする。支援の対象になっている人たちにとって意味のあることだったのか？自分たちの善意を支援の対象や、一緒に活動する人に押し付けていないか？そんな問いが寄せられる。

結論から言ってしまうと、僕はそういう問いが発生しやすいことがボランティアの特性であり、そしてそういう問いを抱え続けざるを得ないことこそがボランティアという営みの肝であると考えている。たとえば親の子どもに対する愛情にしろ、自分の恋人や友人に対する心遣いにしろ、それが自己満足であるかもしれないという問いかけを失ってしまったら、どこかで独りよがりになって、そして相手とのズレは広がっていく。自己満足ではないかと問うことで、自分のやっていることや、他者との関係について問い返し、反省し、そして修正していくことができる。目の前に生々しく他者があらわれてしまったら、そしてその人に対して、あるいはその人とともに何かをやらうとしたら、一〇〇点の答えなどない。だから悶々と悩まざるを得ない。

であれば、悶々と悩まないほうがおかしいとも考えられる。「ボランティアは自己満足？」問題を考える際に、僕が学生たちに必ず聞くのは、では「アルバイトは自己満足ではないのか？」という問いだ。「アルバイトが自己満足だとしたら、どんな点なのだろうか？」という問いを重ねることもある。そして、「なぜアルバイトは自己満足と言われることが①、ボランティアは自己満足と言われることが

②のか」を考える。

学生たちの多くは、アルバイトはお金という対価がもらえるから自己満足ではないと答える。ではなぜお金が必要なのかと問えば、それは自分の暮らしに必要なものや、自分のしたいことをするための手段であると答える。生活必需品を買う。友人と食事をする。恋人や家族と出かける。大学の授業料を払う。家賃を払う。そのすべてにお金は必要だ。

しかし、アルバイトが絶対に自己満足でないと言えるのかと問われれば、誰もが首をかしげるはずだ。まず、お金を稼いだからといって、お金があったからといって、幸せだとは限らない。アルバイトにあけくれて、友人と遊ぶ時間がなくなってしまうこともあるかもしれない。アルバイトに精を出したその次の日に、不慮の事故で死んでしまうかもしれない。それに、アルバイトしている企業の製品は発展途上国の児童労働によって製造されているかもしれないし、またその企業活動によって貧富の格差や、環境の破壊をもたらしているかもしれない。であるならば、給料という対価のために働くことは自己満足と言うことも可能だ。

重要なのはアルバイト（「賃労働」と言ってもよい）を自己満足であると言うのは③だが、そう言われることが④点だ。一時間の労働を時給という形で「お金」に変換し、対価としてもらう。本当は自分の労働はお金を得る以外の意味を持っているはずなのだが、そのことは考えなくてもよくなる。

「考えなくてよくなる」のは、「〈考えなくてもいいこと〉になる」のとは違うのだが、いつの間にか一緒くたにされて、考えなくなってしまう。逆に言えば、無償の行為である、対価が発生しない行為であるとされているから、ボランティアには「自己満足」問題がついてまわる。

（引用：猪瀬浩平 『ボランティアってなんだっけ？』（岩波ブックレット 1018） 26-28 頁 2020 年 岩波書店 原文縦書き）